

日常的な維持管理点検表

用 途	災害発生の要因	主な対策
百貨店 マーケット 物品販売店 など	①不特定多数の人々が集中する売場等では、通報方法の適否が混乱を助長する原因となる。	●適切な通報 ●誘導体制確立 ●常時、物品の整理・整頓、監視体制 ●物品保管場所の確保 ●店内管理、巡視
	②商品等の可燃物が大量にあり、燃焼速度が早い。	
	③階段、廊下、通路等に避難を阻害する物品の放置がある。	
	④物品の積み重ね等により、避難経路標識が見えにくい。	
病院 児童福祉施設 老人ホーム など	①自力避難が不可能な人が多数いるので避難に要する時間がかかる。	●避難訓練実施 ●24時間監視体制の確立
劇場 映画館 など	①暗室状の室内に大人数が集中しているので、適切な通報ができないと出入口付近では大混乱となる。	●適切な通報、誘導体制の確立 ●出入口付近等避難経路の維持管理 ●非常用照明、誘導灯の照度確保
	②床面の傾斜、段差、座席等により避難動作が困難である。	
旅館 ホテル など	①客室のプライバシーを守るために、密閉性も高くなっているため、発見・通報・避難誘導に時間がかかる。	●客に対する避難方法等の事前連絡指示 ●状況把握と適切な避難指示ができる従業員の防災教育訓練の徹底 ●多数の避難経路図の表示
	②宴会場等では酔酺者等への通報の方法如何では特に混乱が起りやすい。	
キャバレー バー・遊技場・ 飲食店などの 複合用途ビル	①テナントが複数で相互連絡体制が不備だと通報が遅れる。また用途により使用時間が異なるので注意を要す。	●全テナントの防火体制の確立 ●自動火災報知の整備、管理 ●客に対する避難方法の従業員教育 ●非常用照明、誘導灯の照度確保
	②一方向避難が多い上に各テナントが自由に店内装飾、物品残置を行うため火災の覚知や避難の阻害がある。	
	③酔酺者等への通報方法如何で混乱が起りやすい。	
共同住宅	①それぞれが独立した区画で使い方も違うので、各住戸の防災・避難上の連携動作に不安がある。	●全住戸対象の防火体制の確立 ●総合訓練の実施 ●避難施設経路の確保と明示
	②廊下・階段等の共用部分の避難経路における混乱がある。	
事務所	①複数のテナントの場合相互連絡体制が不備であると通報が遅れる。	●全テナントの防災体制の確立 ●避難施設経路の確保と明示
	②廊下・階段等の共用部分の避難経路における混乱がある。	